

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年8月12日

第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	120		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	60		
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Gyrosigma acuminatum</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	320	○	
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	240		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3840	◎	◎
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	120		○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	180	3.4	0.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	520	9.7	11.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.7	0.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4600	86.1	87.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	5340	総体積	9.89E+06
種 類 数	15	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし * 印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

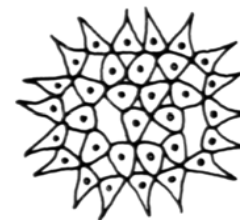
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	3840

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Planktosphaeria gelatinosa
(プランクトスフェリア)
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。